



京都外国語大学
Kyoto University of Foreign Studies

京都外国語短期大学
Kyoto Junior College of Foreign Languages

2018年(平成30年)5月31日

報道関係者 各位

Shall we ダンス? サンバやルンバ、タンゴにチャチャチャ 「本学名誉教授も踊りだす! 教養講座」を開催(取材案内)

京都外国語大学ラテンアメリカ研究所では、6月6日から毎週水曜日に、中南米の「踊り」に関する講座「ダンス! ¡Danza! Dança!」を開催いたします。(全5回)

ブラジルのサンバとカポエイラ、アルゼンチンのタンゴ、キューバ起源のルンバ、チャチャチャなどにスペインのフラメンコを加えて、それぞれの歴史的起源、普及の時代的背景、変容過程などを紹介。また、どのようなダンスなのかをデモンストレーションするとともに、来場者の方にも少し実技体験していただきます。

つきましては、諸事ご多忙化と存じますが、是非ともご取材いただきますよう、ご案内いたします。また、ご取材いただける場合は、事前に下記までご連絡くださいますよう、お願い申し上げます。

京都外国語大学ラテンアメリカ研究所主催 第17回ラテンアメリカ教養講座

ダンス! ¡Danza! Dança!

第1回 6.6 (wed)

カポエイラの魅力と多様性

西村 晃輔 (NPO法人カポエイラジェライス理事長)

奴隷制の時代にブラジルで生まれた「カポエイラ」。まるでダンスの様なりズムから繰り出されるアクロバティックな足技は、見る者を魅了します。この特徴的な動きが注目され、日本ではスポーツやダンス、エクササイズなどの分野に先行して広がりをみせていました。本講座ではカポエイラの歴史的な成り立ちを踏まえ、実際に指導する立場の経験から、文化的、教育的に、これからの日本社会にどの様な影響を及ぼしているのかを考えます。

第3回 6.20 (wed)

「Shall we ダンス?」の世界
—ラテンアメリカ起源の社交ダンス—

辻 豊治 (IELAK客員研究員)

映画「Shall we ダンス?」が描くダンスは、一般人向けの社交ダンスであるとともにダンス競技者による競技ダンスとしての性格をもっています。種目はボールルーム(スタンダード)・ダンス5種目とラテンアメリカン・ダンス5種目に分かれています。前者のタンゴ、後者のルンバ、チャチャチャ、サンバがラテンアメリカ起源です。本講座では各5種目の成立起源、ヨーロッパへの波及の経緯、ブラジル・サンバやアルゼンチン・タンゴとの違いなどに言及し、実技とDVDで実際の踊りを紹介していきます。

第5回 7.4 (wed)

魅力あふれるサンバの世界

根川 幸男 (国際日本文化研究センター 機関研究員・IELAK客員研究員)

世界最大の祝祭ブラジルのカルナヴァルとともに有名なサンバ(Samba)ですが、その歴史や由来については意外と知られていません。本講座では、講師のブラジルでの体験や映像・画像をまじえて、サンバの基本的なステップを学ぶとともに、その魅力について紹介します。

第2回 6.13 (wed)

魅惑のフラメンコ

山本 秀実 (フラメンコ真蹟家・京都スペイン文化協会理事長)

見る人を虜にする魅力、魔力のあるフラメンコ。熱く激しく情熱的であることは、ラテンアメリカ諸国と同じですが、遠く離れたスペインのフラメンコは、どのようにして生まれ、どういう経緯で今日に至ったのでしょうか。楽しく解説します。

第4回 6.27 (wed)

アルゼンチンタンゴにおけるバンドネオン

~天使から悪魔の楽器へ~

高橋 京子 (タンゴ歌手)

戦前より日本人に親しまれてきたアルゼンチンタンゴ。その演奏に欠かせない楽器・バンドネオンについて、星野俊路による生演奏と共に紹介します。又、初演から101年目となる世界的に有名な「ラ・クノバルシータ」の歌詞についてもお話させていただきます。

日時 2018年6月6日より
毎週水曜日(全5回)
18:00~19:10

会場 京都外国語大学国際交流会館7階
インターナショナルホール



日時:2018年6月6日より毎週水曜日(全5回)18:00~19:10
会場:京都外国語大学国際交流会館7階インターナショナルホール
後援:京都ラテンアメリカ文化協会
※申込不要・入場無料

以上

【本件に関するお問い合わせ・取材の申込み】

京都外国語大学・京都外国語短期大学 広報室〔担当:福本・北口〕

〒615-8558 京都市右京区西院笠目町6

TEL:075-322-6219 FAX:075-322-6246 E-mail:koho@kufs.ac.jp